

## 1. 専攻の概要

グローバル化が進展するこれからの日本社会にあって、国際社会に対する正しい知見に基づいた国際友好の進展は、不可避的条件である。国際社会の最大の目標である「共生」に至る道を探るために、「国際協力と国際交流」（文化・経済・環境政策面での国際協力と国際交流）、「現代社会と文化」（各国・各地域の文化的多様性と社会の調和）、「現代社会とこども」（教育的な面からの現代社会とこどもの関わり）という三分野を設定している。国際社会システム研究科国際社会システム専攻は、国際的視点のもとに研究を進展させ、これら三分野にわたる総合的知見を身につけた研究を進展させることで、高度な職業的専門人を育成することを教育目的としている。

## 3) 「現代社会とこども」のこども政策を主たる研究分野とした学生の場合

### (1) 入学までのプロセス

本学現代社会学部現代こども学科に入学し、小学校と幼稚園の教員免許を取得。卒業後、アジア圏の日本人学校の教師とし3年間働き、日本語を母語としないこどもたちの教育について専門的に学びたいと考え、社会人特別推薦入試を受験し入学。

### (2) 修了後の進路

文学研究科日本語日本文学専攻に開講されている日本語関連科目を履修しながら、外国にルーツを持つこどもたちの教科指導と日本語学習を関連させながら効果的な授業のあり方について修士論文を完成させた。修了後は、外国にルーツを持つこどもたちの支援プロジェクトに参画している。

科目区分	1 年次		2 年次	
	科目名	単位数	科目名	単位数
A 類	社会とこども特殊演習 A I	2	社会とこども特殊演習 C I	2
	社会とこども特殊演習 A II	2	社会とこども特殊演習 C II	2
	社会とこども特殊演習 B I	2	国際交流と社会システム特殊演習 A I	2
	社会とこども特殊演習 B II	2	国際交流と社会システム特殊演習 A II	2
	現代社会システム特殊演習 B I	2		
	現代社会システム特殊演習 B II	2		
B 類	こどもコミュニケーション特論 I	2	社会とこども特論 I	2
	こどもコミュニケーション特論 II	2	社会とこども特論 II	2
	国際交流と社会システム特論 I	2		
	国際交流と社会システム特論 II	2		
	日本語学特論 I	2	日本語学特論 I	2
	日本語教育学特論	2	日本語教育学特論	2
単位数		24		16